



小型製粉機 ホーミルA

取扱説明書

このたびは、お買い上げいただき
誠にありがとうございます。



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず
この「取扱説明書」をお読みください。

誤った使い方をすると、事故を引き起こすおそれがあります。
お読みになった後も必ず製品の近くに保存して下さい。

もくじ

1. 危険防止のために	1
2. ご使用になるまえに	5
3. 作業の注意	7
4. 製粉の仕方	8
5. 掃除の仕方	10
6. 電気回路関係	11
7. 不調なときの原因と対処	11
8. 大豆オプションの掃除の仕方 ..	12
9. 消耗部品	13

重要なお知らせ



◎この機械の操作及び保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書に従ってください。

もし疑問点又は不明な点がございましたら、当社又は販売店にお問合せを回答を得るまで作業を進めないでください。

◎この取扱説明書に従わなかったため、あるいは誤用や無断改造がなされたために怪我を負ったり、損害が発生したとしても、販売元・製造元および販売店は一切その責任を負いません。

- 1) 近年農業機械には新しい材料や加工方法の採用により、さまざまな危険が数多く発生する傾向にあります。
この機械の取扱上の危険についても、すべての状況を予測することはできません。
そのためこの取扱説明書の記載事項や機械に表示してある注意事項は、すべての危険を想定しているわけではありません。
従って機械の操作または日常点検を行う場合は、この取扱説明書の記載及び機械本体に表示されている事項に限らず、安全対策に関しては十分な配慮が必要です。
- 2) この取扱説明書について質問やより詳しい情報が必要な場合は、当社又は販売店にお問合せください。
- 3) この取扱説明書において、万ページの乱丁や落丁などがあった場合は、お取り替えいたしますのでお手数ですが販売店までご連絡ください。



◎この機械の操作及び保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書の指示・警告にしたがってください。




疑問点または不明な箇所があれば、当社または販売店に問い合わせを回答を得てから作業を進めてください。

1. 危険防止のために

1-1 警告用語の種類と意味

◎危険防止のために、本機の危険な箇所には警告ラベルを貼付してあります。
この警告ラベルでは危険度の高さ（又は事故の大きさ）に従って、次の3段階に分類しています。

以下の警告用語がもつ意味を理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

 危険	切迫した危険な状態を示し、手順や指示に従わないと死亡もしくは重傷を負う場合に使用されます。
 警告	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと死亡もしくは重傷を負う場合に使用されます。
 注意	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと中・軽傷を負う場合、機器・機械が損傷する場合又は原料や製品に不具合が生じる場合に使用されます。

警告

危険防止のために危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが貼付してあります。

このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。







守らずに作業をしますとケガをする場合があります。

また、各ラベルが剥がれたり、読みづらくなった場合は、即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けてください。

新しいラベルは当社にて準備しております。（ラベルは有償となっております）

1. 危険防止のために

1-2 本機の使用にあたっての諸注意

 警告	作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行ってください。 本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。
 警告	本機を設置する際は、準備作業を必ず取扱説明書通りに実施し、本機の周りには決して過熱性の物・電氣的な高容量物コンプレッサー等のノイズ発生物などの危険な物は置かないようにしてください。 本機に悪影響を与え、安全上支障をきたすことがあります。
 警告	危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが貼付してあります。 このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。 守らずに作業をしますとケガをする場合があります。 また、各ラベルが剥がれたり、読みづらくなった場合は、即座に新しいラベルと交換し同位置に貼り付けてください。 新しいラベルは当社にて準備しております。（ラベルは有償となっております）
 警告	当社に無断で本機を改造したり、取り付けられているものを外したり加工をほどこし、本機と関係のない物を取り付けたりは、絶対にしないでください。 本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。
 警告	使用頻度に合わせて本機の点検・清掃は必ず実施してください。 本機の性能を充分発揮出来ず、安全上支障をきたすことがあります。 また、点検・清掃を行う場合は必ず元電源を切ってから作業してください。 守らずに作業しますとケガをする場合があります。
 警告	本機を使用する場合の電気工事に関しては、電気工事有資格者又は電気工事資格店にて本機の取扱説明書内に記載されている基準を十分満たす工事を実施すること。 自分で勝手に工事はなさないでください。 本機に悪影響を与え安全上支障をきたすことがあります。 また、既存の動力配線をお使いになる場合は本機の基準に適合していることを確認後、本機を使用してください。
 警告	本機の御使用后、及び保管の際には必ず、電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電・漏電・火災の原因となります。


1. 危険防止のために

 警告	本機を水につけたり、水のかかる場所や火気の近くでは使用しないでください。 ショート・感電・漏電・火災の原因となります。
 警告	電源プラグを抜く場合は、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜いてください。 感電や発火する場合があります。
 警告	改造はしないで下さい。また、修理技術者以外の方は分解や修理をしないでください。 火災・感電・ケガの原因となります。
 警告	電源プラグの刃（プラグ先端）及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、よく拭き、ほこりを取り除いてください。火災の原因となります。
 警告	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい場合は本機を使用しないでください。 感電・ショート・発火の原因となります。
 警告	指定の電源以外では使用しないでください。 火災・感電の原因となります。
 警告	電源コードを傷つけないでください。 無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重たいものを載せたり、挟みこんだり、加工した場合は、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
 警告	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。感電・ショート・発煙・発火の原因となります。

※上記以外の注意点及び詳細は各作業内容に合わせて記載してあります。よく熟読され、必ず守ってください。

1. 危険防止のために

1-3 警告ラベル・注意ラベルの貼り位置と説明




警告

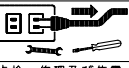
危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。このラベルの注意書きを必ず守って作業を行ってください。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。また、各ラベルが剥れたり、読み辛くなった場合は即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けてください。新しいラベルは当社にて準備しております。

機体内部の点検・修理やベルトの交換その他停電等には危険防止のため、必ずスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。
(コード：260-410-11)


タンク内の下部には回転部があります。運転中にこれらに接触するとケガをします。タンク内の掃除やなんらかの理由で手を入れるときは、必ず運転を停止して電源プラグをコンセントから抜いてください。
(コード：260-401-10)




警告




点検、修理及び停電の時は、危険防止のため必ずスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。ケ-11



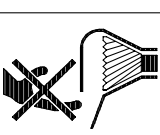
警告




運転中はタンク内の回転部に手を入れないでくださいケガをします。ケ-2




警告




運転中は出口に手を入れないでくださいケガをします。ケ-15



警告



運転中はカバーを開けないでください回転部分に接触するとケガをします。ケ-1



注意

運転前に、必ず取扱説明書を読んで、操作装置の位置とその機能をよく理解してから運転してください。チ-4

運転前には取扱説明書を熟読し、本機の性能・機能を充分理解してから運転してください。取扱説明書に従わなかったときは、本機の性能を充分発揮できず、安全上支障をきたすことがあります。
(コード：260-433-10)

運転中は絶対に粉出口の前カバー下方から手を入れないでください。指が臼回転部に接触しケガをする場合があります。掃除・点検など行う際は、必ず運転を停止し電源プラグをコンセントから抜いてください。
(コード：260-414-10)

後フタを開けると伝動部があります。運転中にこれらに接触するとケガをします。後フタを開けるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
(コード：260-400-10)

2. ご使用になるまえに

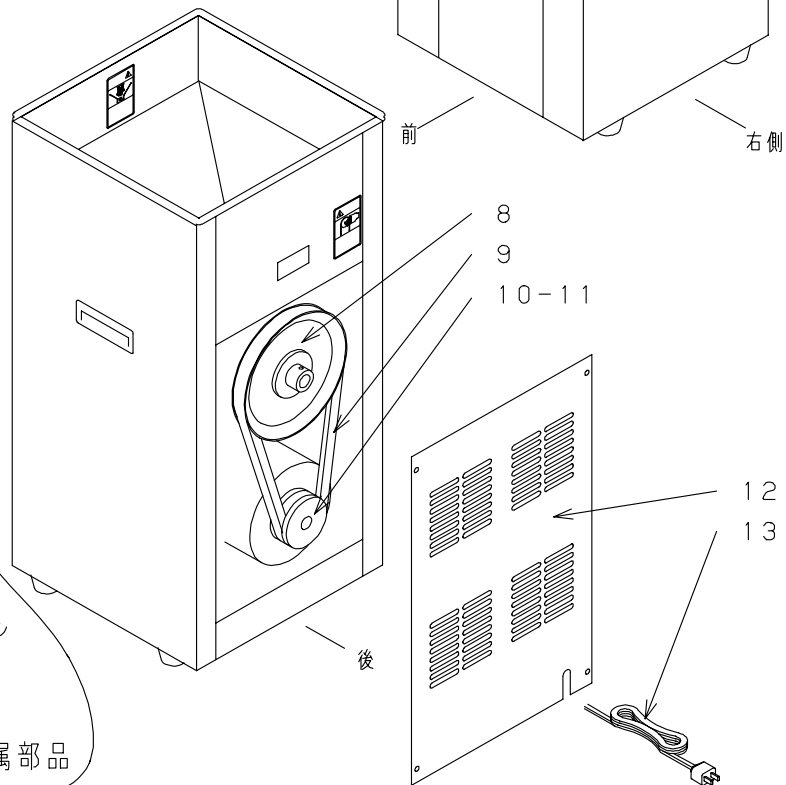
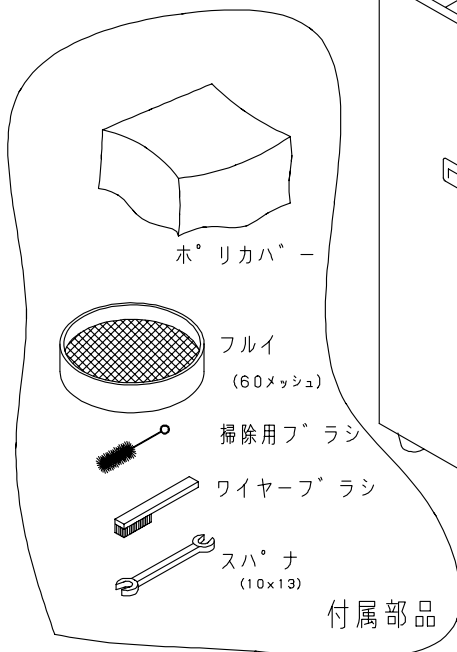
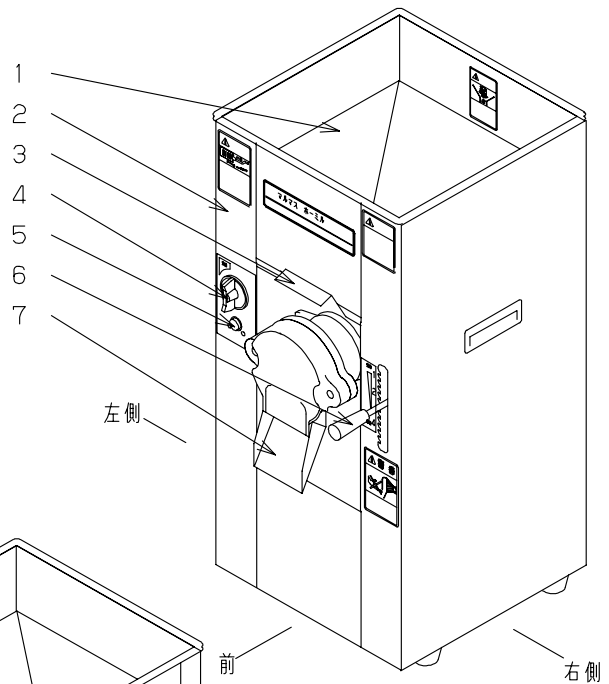
2-1 本機の構成名称



注意

ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解した上でお取扱ください。

No.	名 称
1	タンク
2	側 板
3	シャッター
4	タイマー
5	サーマルプロテクター
6	製粉レバー
7	粉シュート
8	主プーリー
9	Vベルト (SA-31 レッド)
10	モータープーリー
11	モーター (AC100V/250W)
12	後カバー
13	電源コード



2. ご使用になるまえに

2-2 仕様

名称型式	小型製粉機 ホーミルA		
電源	AC100V (50/60Hz)		
モーター	分相始動形 250W		
本体寸法	幅 270mm × 奥行 330mm × 高さ 600mm		
重量	24kg		
タンク容量	9リッター (5升)		
能率		ひき割り (kg/h)	製粉 (60メッシュ) (kg/h)
	精白米	25 ~ 35	5 ~ 15
	大麦	25 ~ 35	1.5 ~ 5
	小麦	25 ~ 35	1.5 ~ 5

小麦の製粉は、品種・産地により毎時製粉能率が異なります。
小麦用スクリュウのオプション使用で製粉能率は50~70%UPします。
能率を必要とされる方はオプションをお求めください。

2-3 本機の設置について

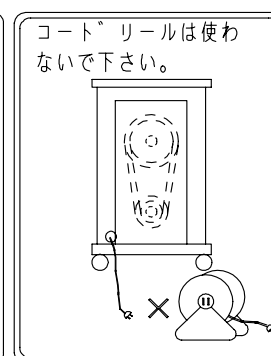
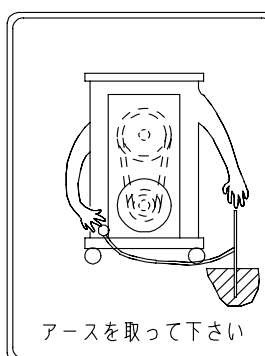
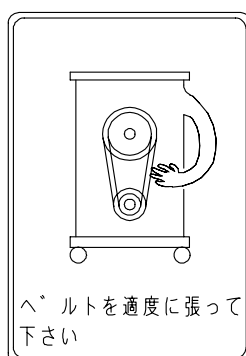
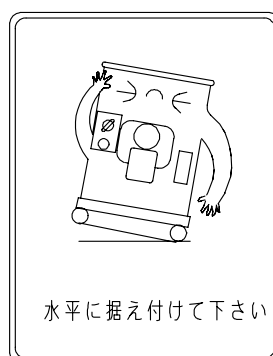


注意

作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行ってください。
作業するには身の回りには充分気を配り、ケガをしないように注意してください。

※ 製粉機の据え付けについて

- ① 設置場所は湿気のないところで水・油等がかからない場所を選んでください。
- ② 機体が水平になるように設置してください。
- ③ 外部から振動が伝わらないところで、点検の容易な場所を選定してください。
- ④ 電源 (单相100V) は必ず差込みコンセントまたは100V動力線に接続してください。(照明器具から引いたり・コードリールを使用したりしないでください。また、たこ足配線は絶対にしないでください。)
- ⑤ 消費電力の大きい電気製品との同時使用は避けてください。



3. 作業の注意

3-1 作業の注意



注意

ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行ってください。作業する際には身の回りには充分気を配り、ケガをしないように注意してください。



注意

運転中に停電になったとき

- ① 電源プラグをコンセントから抜く。
- ② シャッターを閉める。
- ③ タイマーを「0」にする。
- ④ 製粉レバーを荒粉の位置にする。

以上の操作をしないと停電復帰後、動き出しケガをすることがあります。



注意

タイマースイッチの注意

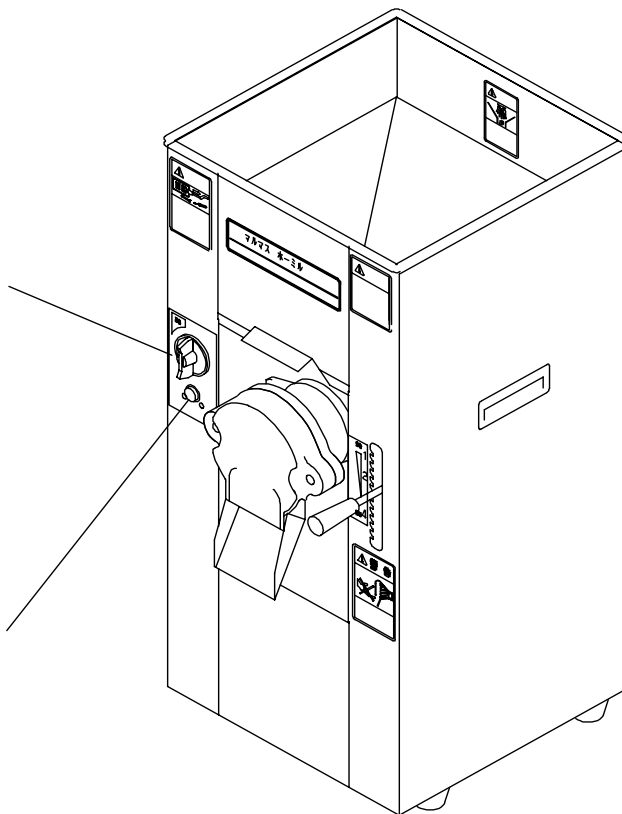
タイマーは連続運転と時間設定ができます。
ダイヤルを回しますと運転を開始しますので充分注意して操作してください。
品種や荒さの設定で製粉時間が変わりますので、目安としてお使いください。
計量機としてのご使用はできません。



注意

ブレーカーの注意

ブレーカーが作動した場合は、タイマーを「0」に戻し、製粉レバーを荒粉の位置にしてください。
しばらくまってから、ブレーカーの赤ボタンを押し込んでください。
3秒以上押さないでください。
電気系統が破損します。



4. 製粉の仕方

4-1 製粉の注意



注意

ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行ってください。作業する際には身の回りには充分気を配り、ケガをしないように注意してください。



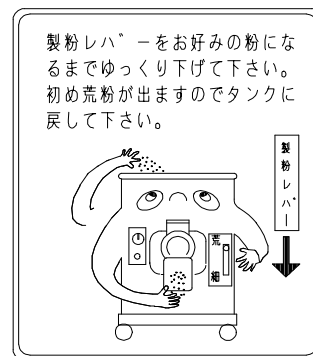
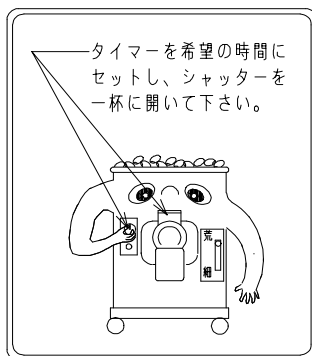
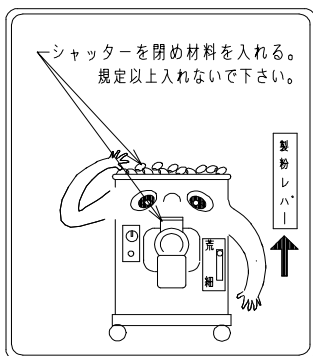
注意

- ① 初めてお使いになったとき、製粉材料と臼微粉が微妙に混ざり排出される粉が若干変色する場合があります。購入直後は必ずならし運転として若干の製粉作業を行ってから、本作業に移ってください。
- ② 製粉される材料は、十分に乾燥させてください。
- ③ ワラクズ・ゴミ・小石等の異物は取り除いてください。
- ④ ひき割りは製粉レバー位置を荒粉側で必要な荒さの位置にしてください。
- ⑤ 材料を2回通し以上で製粉されるときは、製粉能率を上げるため1回ごとにフルイ分けを行って荒粉のみを製粉してください。

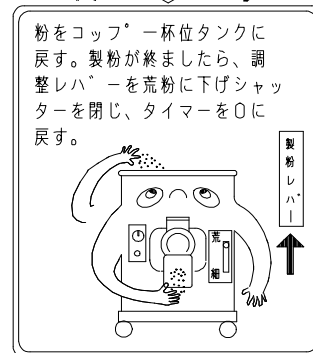
使用するフルイ	米類・大豆・麦類・そば	・・・・	50～60メッシュ
	大豆	・・・・	30～40メッシュ

4-2 製粉の仕方

製粉作業は下図の要領で行ってください



終了



- ① 材料をタンクに入れる前に、シャッターを閉じ、製粉レバーを荒粉の位置にしてください。
タンクにお好きな量だけ材料を入れてください。(9ℓ(5升)まで)
 - ② タイマーを希望する時間にセットしてシャッターを全開にして運転してください。(タイマーセットで運転開始)
 - ③ 製粉レバーをお好みの粉になるように下げてください。
臼が軽く擦れ合う程度にセットして繰り返し製粉するかまたは、フルイにかけ粗いものは再製粉してください。
タンク内に材料がなくなったら、コップ一杯程度の粉をタンクに入れ機内に残っている未製粉の材料を押し出すしてください。
 - ④ 製粉が終わりましたら、製粉レバーを荒粉へ戻しシャッターを閉じてタイマーを「0」に戻して運転を停止してください。
- ※ 製粉途中で運転を停止するときは、シャッターを閉じて粉が出なくなってからタイマーを「0」に戻してください。

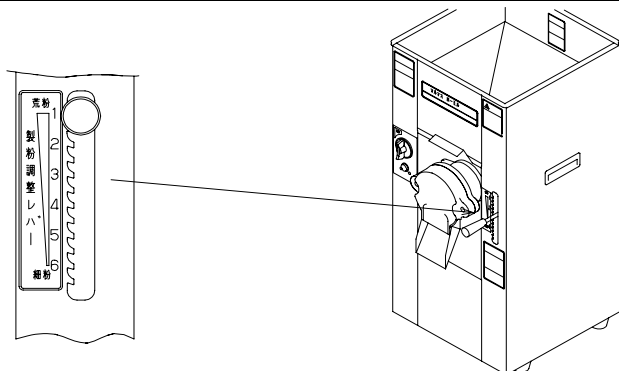
4. 製粉の仕方

4-3 材料による製粉の仕方

材 料	シャッター	製粉レバー		要 点
		1回目	2回目	
米 類	全開	1回目	3~4	※ 精白米は除糠性能の良い精米機で精米した精白米を使用することで良い粉が得られます。米パン用には、フルイ替網80メッシュ（100目）以上の網目をご使用または3回程度の繰り返し製粉を行ってください。
		2回目	4~5	
大 豆	全開	1回目	0~3	※ 生大豆は製粉前に天日で充分乾燥させてください。レバーの操作は1回目を弱・2回目以降順次強くします。 ※ きな粉にする場合幾分焦げる程度に煎った後、熱を冷まして製粉してください。 ※ 黒豆・大豆の製粉には黒豆・大豆用ろーるスクリュウ（オプション）をご使用ください。能率がUPします。
		2回目	3~4	
小 麦	全開	1回目	2.5~3.5	※ 充分乾燥させてください。良質の粉にする場合、小麦18ℓ（1斗）に水2カップ（2合）程度混入させ、一昼夜（夏6時間）放置した後製粉してください。 出来るだけ1回製粉ごとにフルイを通してください。1回目が1番粉・2回目が2番粉です。 ※ 良質小麦の場合はそのまま製粉し、良質粉として1~3番粉程度までご使用になれます。 ※ 小麦の製粉は品種・産地により能率が異なります。小麦用スクリュウ（オプション）仕様で能率は標準仕様の50~70%UPします。
		2回目	3.5~4.5	
麦 類	全開	1回目	2.5~3.5	※ 大麦・ハト麦の表皮を取り除いた後製粉してください。 ※ 1回目は粗く製粉して表皮を取り除き、2回目で製粉してください。
		2回目	3.5~4.5	
		1回目	2.5~3.5	※ はったい粉にする場合は、麦を一様に軽く焦がしてはぜる程度に煎った後製粉してください。
		2回目	-	
そ ば	全開	1回目	1.5~3.5	※ 1回目粗挽きにして粗目のフルイに通してそば殻を取り除き、2回目で製粉してください。 ※ そば殻と実は11メッシュのフルイで選別を行い、最終仕上げには50メッシュのフルイを使用されるとのど越しの良いそばに仕上がります。
		2回目	4~5	
その他	全開	1回目	任意	※ 上記以外の穀類・乾燥魚・香辛料等は充分乾燥させてから製粉してください。
		2回目	任意	

⚠ 注意

- ・製粉レバーは強くし過ぎないように注意してください。材料のない状態で臼を閉めすぎると、臼が膠着することがありますので、臼が軽く接触する位置から1山
 - ・1目盛り程度の強さにしてください。
- ・選別した粗いものは、2~3度製粉を繰り返すことで良い粉に仕上がります。



5. 掃除の仕方

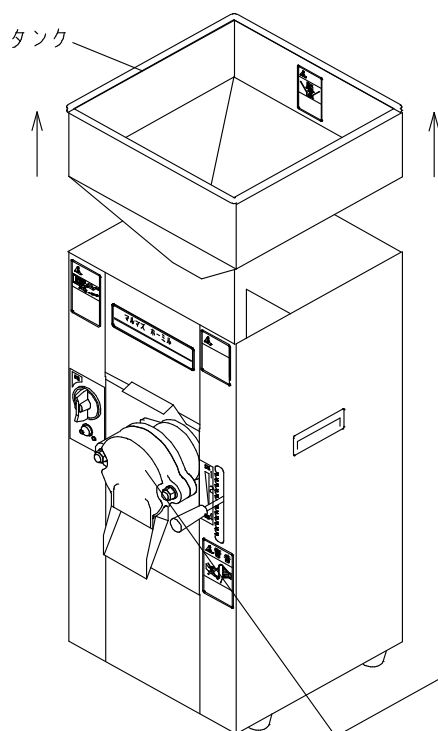
5-1 各部名称と掃除分解の方法



警告

点検・掃除作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
安全上支障をきたす場合があります。

◎ 下記に示す手順で掃除分解を行ってください。



※ 電源プラグをコンセントから抜いてください。
※ スパナで六角袋ナットを外し、前カバーを取り外してください。



注意

※ 六角ボルト (M8 SUS) を外し、内臼・スクリュウを引き抜いてください。
(外臼は通常は外さないでください)

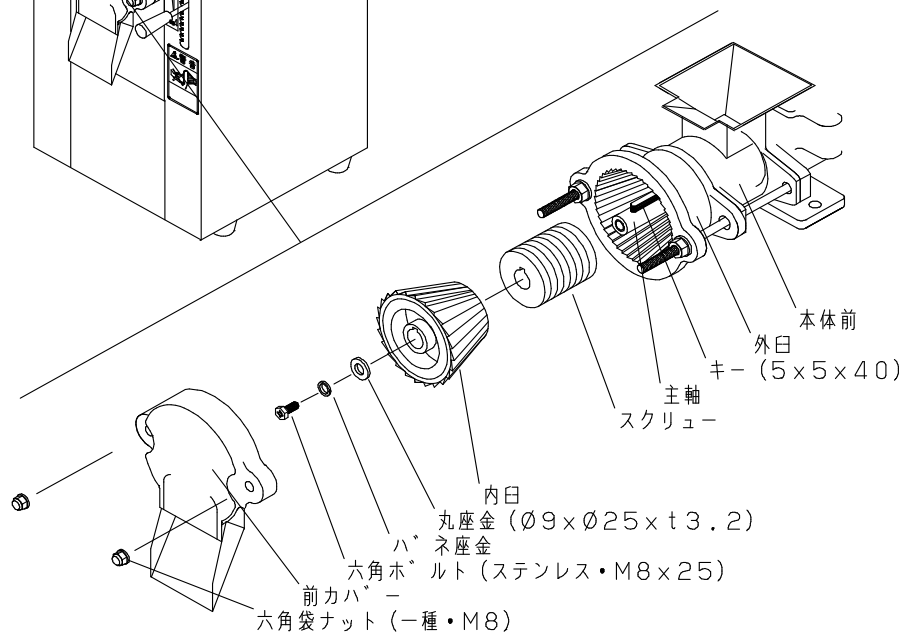


注意

※ 臼内部に残っている粉を取り除き、内臼・外臼の目をワイヤーブラシで掃除してください。
(主軸に付いているキー材 (5×5×40) が外れ易いので注意してください。運転が出来なくなります)

※ 組立は分解の逆手順で行ってください。
(主軸のキー材を忘れずに取り付けてください。)

◎ タンクを上方に引き上げ外しますと、内部の掃除も容易に行えます。



警告

本機のご使用後及び保管の際には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

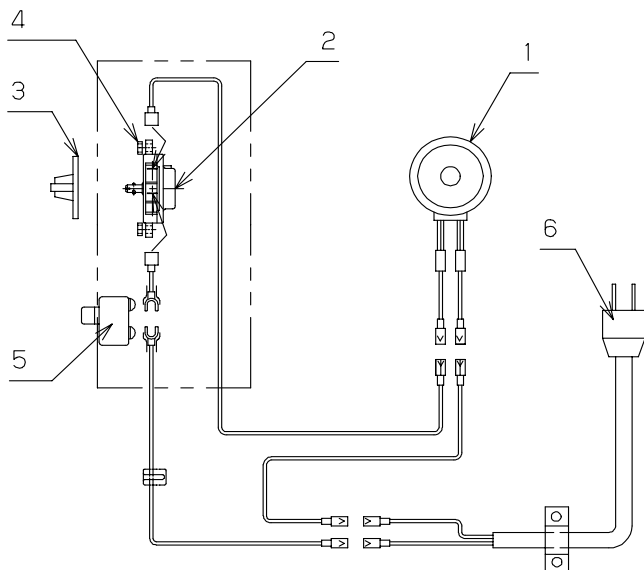
6. 電気回路関係

6-1 電気回路関係



警告

点検・掃除作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
安全上支障をきたす場合があります。



品番	品名	個数
1	単相250Wモーター	1
2	60分タイマー	1
3	タイマーツマミ	1
4	タイマーカラー	1
5	サーマルプロテクター	1
6	プラグ付コード	1

7. 不調なときの原因と対処

状態	原因	対処
タイマーを回しても機械が運転しない	電気がきていない	電源及び配線を確認してください
	ブレーカーが働いている	原因を取り除き、サーマルをリセットしてください
粉にならない	製粉レバーの目盛りが弱過ぎる	製粉レバーの目盛りを強くしてください
	臼に粉が焼き付いている	分解してワイヤーブラシ等で掃除してください
	材料の乾燥が不十分である	天日で十分に乾燥させてください
ブレーカーが働く	製粉レバーの目盛りが強過ぎる	製粉レバーの目盛りを弱くしてください
	外臼と内臼が焼き付いている	分解してワイヤーブラシ等で掃除してください 製粉レバーを弱くしてください 材料が無くなったら製粉レバーを「0」にして、臼の接触を無くしてください
	他の機械や電熱器等が動いている	消費電力の大きい電気製品との同時使用は避けてください
	配線が不適正である	適正配線されたコンセントへ電源プラグを直接接続してください

8.大豆オプションの掃除の仕方

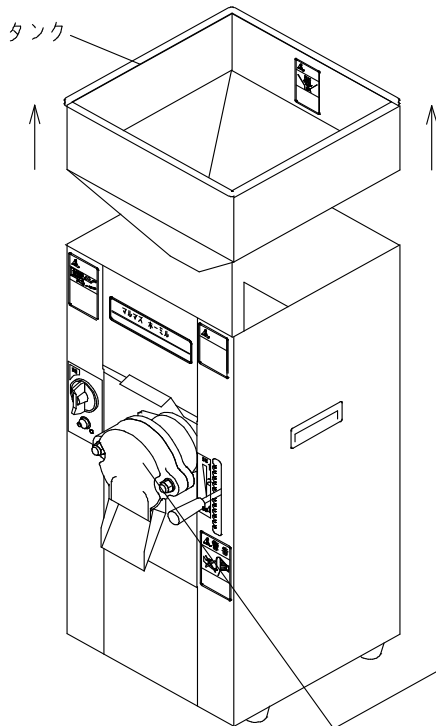
8-1 臼部名称と掃除分解の方法 (大粒大豆用オプション部品 ロール・挽割調節カラー)



警告

点検・掃除作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
安全上支障をきたす場合があります。

◎ 下記に示す手順で掃除分解を行ってください。



※ 電源プラグをコンセントから抜いてください。
※ スパナで六角袋ナットを外し、前カバーを取り外してください。



注意

※ 六角ボルト (M8 SUS) を外し、内臼・カラー・スクリューを引き抜いてください。
(外臼は通常は外さないでください)

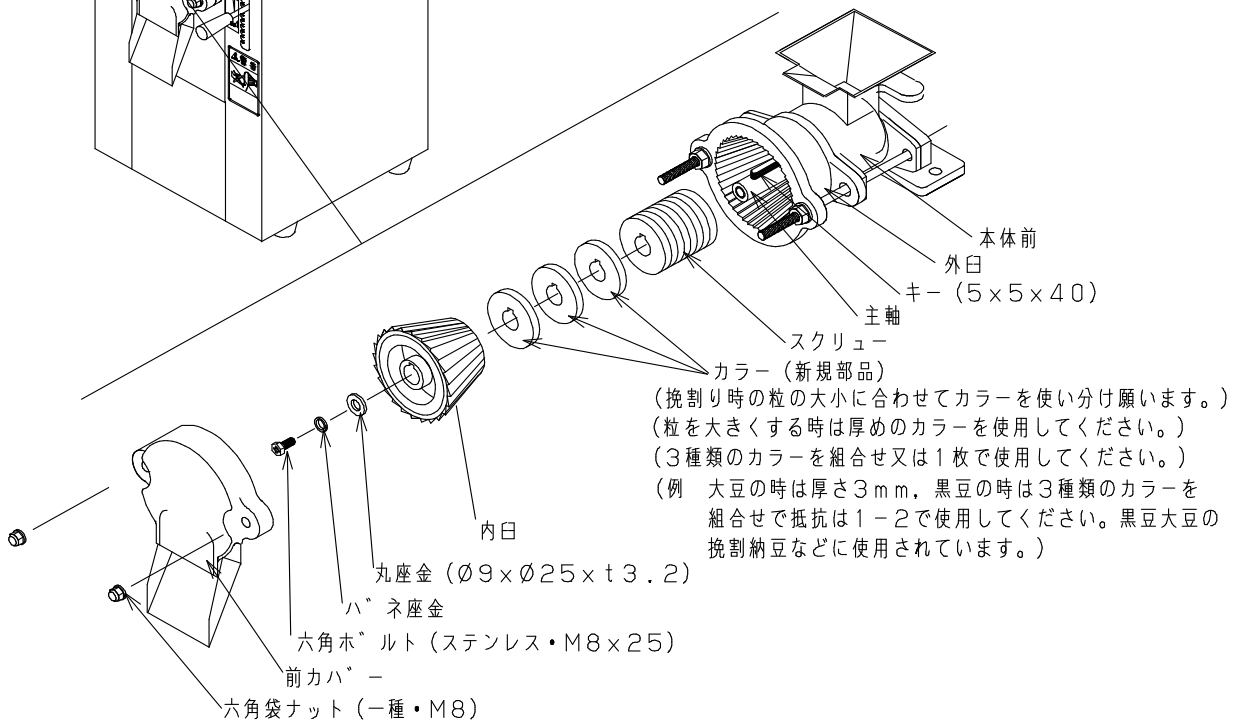


注意

※ 臼内部に残っている粉を取り除き、内臼・外臼の目をエアイヤーブラシで掃除してください。
(主軸に付いているキー材 (5×5×40) が外れ易いので注意してください。運転が出来なくなります)

※ 組立は分解の逆手順で行ってください。
(主軸のキー材を忘れずに取り付けてください。)

◎ タンクを上方に引き上げ外しますと、内部の掃除も容易に行えます。

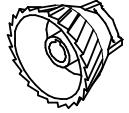
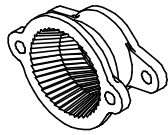



警告

本機のご使用後及び保管の際には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

9. 消耗部品

- 表中の数値を目安に、部品の交換をお願い致します。
- 交換部品は、お買い上げの販売店へお問合せください。
- 交換作業は、お買い上げ販売店へお問合せください。

部品名	内臼	外臼	スクリュー
部品番号	410-103-14	410-121-14	410-106-11
イメージ			

アフターサービスについて

1. 保証書の内容のご確認と保存のお願い

必ず、販売店印およびお買い上げ日を確認のうえ、お買い上げの販売店から本書を受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年

3. 修理をお申しつけられるときには

《保証期間中》

お問合せの際、販売店にご連絡ください。保証書の記載事項に基づき修理させていただきます。

《保証期間を経過している時》

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。

4. 補修用部品の供給年限について《製造打ち切り後10年間》

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後10年と致します。ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては納期限等について、ご相談させていただく場合もあります。補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格について、ご相談させていただきます。

5. 点検・処置しても、なお不具合があるときは

下記の点を明確にしてお買い求め先までご連絡ください。

《連絡していただきたい内容》

- 型式名と機体番号
- ご使用状況は？
- どれくらい使用されましたか？
- 不具合が発生したときの状況を、できるだけ詳しく教えてください。

本書記載以外、お客様ご自身での修理、分解や改造は、絶対にしないでください。

保証書

保証期間内に取扱説明書、本体表示などの注意書きに従って正常な使用状態で使用して故障した場合には、保証書を持参、ご提出の上、お買い求め先へお申し出ください。無料修理させていただきます。

※型 式 名	ホームルA	修理メモ
※機 体 番 号		
保 証 期 間	お買い上げ日より本体 1 年	
※お買い上げ日	年 月 日	
※お 客 様	お名前	
	ご住所	
	お電話 ()	
※販売店名・住所 ()		

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- ご転居、ご贈答などで、お買い上げの販売店に修理依頼できない場合は、下記の販売元へお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) お取り扱い上の不注意・天災・公害・異常電圧・指定外の使用電源による故障、損傷及び部品の当然の消耗などの場合。
 - (ロ) ご自分で不当な修理・調整・分解・改造などをされたもの及び取扱説明書、本体表示などの禁止事項での使用による故障及び破損。
 - (ハ) お求め先以外での修理・純正部品以外の使用起因による故障、損傷の場合。
 - (ニ) 機能上影響のない音・振動・外観上の軽微な傷、経時変化による自然退色、発錆などの場合。
 - (ホ) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障及び損傷。
 - (ヘ) 一般、厨房用以外（たとえば車輻、船舶へのとう載など）に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ト) 故障に起因する休業補償などの二次損失の補償。
 - (チ) 故障の発生後30日以内にお買い求め先へお申し出がなかった場合、取り外した不具合部品を紛失された場合。
 - (リ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (ヌ) 本書のご提示がない場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

- この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は、下記のお客様窓口へお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理・補修用部品の保有期間について詳しくは、アフターサービスについての項をご覧ください。

マルマス機械株式会社

〒930-0314 富山県中新川郡上市町若杉2番地
TEL. 076-472-2233 FAX. 076-473-9100